



実演を交えながら伏せ込み手法の認識共有を図る桜田部会長

白神山うど伏せ込み講習会で手順を再確認

山うど部会（桜田和浩部会長）は12月13日に白神山うど伏せ込み講習会を、桜田部会長の山ウドが伏せ込まれたヒールハウス内で開催しました。桜田部会長は「生産者の高齢化により産地として縮小傾向にあるが、昨年からは新規生産者も加わってくれた。分らないことがあればいつでも遠慮なく聞いてもらう。皆で高品質な「白神山うど」をたくさん出荷しよう」と部会員らを激励。二ツ井宮農センターの斉藤営農指導員は「これから収穫まで伏せ込みは、これからの最も重要な生産者にとって加温の手間は異なるが、温度を一定に保つことは収量増にも繋がる共通事項なので、最後まで気を抜かず温度管理に注意して頑張ってください」と部会員らに呼びかけます。1月中旬から収穫最盛期を迎える「白神山うど」は、今年度88トンの出荷、6千万円の販売を計画しています。

心豊かな地域作りを目指して！

JA助け合い組織協議会（藤田ミヤ子会長）は支部毎に年に一度各地区を巡回訪問しミニサービスを行っています。二ツ井支部のたんぼほほ会は二ツ井町仁耐地区で、地域住民を交えたミニサービスを行いました。当組合では高齢化社会に対応するため、ふれあい助け合い活動を通じて心豊かな地域作りを推進しております。今回のミニサービスでは、嚙下運動の環として予め用意した歌詞本を見ながら「ボケます小唄」をお座敷小唄の節に合わせて替え歌をついたり、タオル体操で全身をほぐしたり、チームに別れて競争するゲームでは熱狂と笑いに包まれました。お茶タイムでは、団らんしながらチラシを使ってゴミ箱を作成すると同地区の小規模多機能型居宅介護事業所「わか杉の郷」へ寄贈しました。



気持ちを込めてたくさん作りました！



強盗事件を想定した防犯訓練を実施

明るい職場作りで防犯体制万全に

二ツ井支店で、防犯研修会を行い、強盗犯や、特殊詐欺の指示通りに現金を引き出そうとする来店客に扮した能代警察署員とのやり取りを通して防犯体制と特殊詐欺への対応について再確認しました。年末が近づくと全国的に強盗や特殊詐欺などの犯罪が発生しやすい傾向にあることから、発生時の対応を確認するために毎年実施しています。窓口で強盗犯対応した同支店員も、大声で脅されると圧倒されてしまったが、駆けつけた警察官には犯人の特徴を的確に伝えることができました」と訓練の感想を話します。同支店秋元支店長は「JAには強盗は持たないだろうという固定概念は持たないようという活用頂ける店舗作りを目指したい」と話します。

『地域農業振興確立集会』を開催

「コロナ禍の影響による、外食産業の落ち込みなどによる農産物の需要の低迷に加え、化石燃料や農薬資材などの物価高騰、持続可能性を困難にしている。今、情勢認識を共有している。12月14日に地域農業振興確立集会を能代市で開催しました。はじめに佐藤組合長が「地域農業の将来を見据えた実践運動を継続し、地域農業と地域住民の生活を支える総合事業をより一層展開していきたい」とあいさつ。また、基調講演では、東北農政局が「米政策の推進状況」について、(株)全農の田口将之氏が「食料安全保障と世界の農協・日本の農協」と題して講演し、参加者らは熱心に聴講していました。最近耳にするようになった「食料安全保障」については、次ページにてご紹介いたします。



米政策について講演する田口地方参事官

優良賞  
全農秋田県本部県本部部長賞



石山 金由  
(JAあきた白神)

白神の風を読み、米代の肥沃土を味方に、食味重視の仕事人



「美味しい」あきたこまちコンテスト 祝 石山さん優良賞受賞!!

JAグループあきたは12月7日「秋田米フォーラム2022」を秋田市で開催しました。県やJA、生産者など約150人が参加。このフォーラムは、県産米の更なる高品質・良食味米生産への意識醸成を目的に毎年開催されております。フォーラムの中では、令和4年産米「美味しい」あきたこまち「コンテスト」の表彰式が行われ、全県から選抜された82点の中から1次審査、2次審査と厳しい審査を突破した12点に絞り込まれました。昨年に引き続き、当組合からノミネートされた二ツ井町切石の石山金由さんが堂々の優良賞を受賞されました。受賞した石山さんは令和4年産米について「これまで水管理には特に注意していたが、低温、大雨など今年は登熟が緩慢と思われたので落水時期を遅らせるなどして取り組んだ成果が今回の結果に繋がった」と受賞を喜んでおりました。安部二ツ井宮農センター長は「石山さんの徹底した水管理などを管内の生産者へも周知しながら、「あきた白神米」の更なる品質向上に繋がられるよう巡回指導に注力していきたい」と意気込みます。コンテストで優秀な成績を収めた生産者の栽培方法の事例は県域で共有されることとなります。表彰式の後には、(株)三越伊勢丹ホールディングスによる秋田米への応援メッセージを含めた基調講演なども行われました。

石山 金由 (JAあきた白神) 審査概要

サタケ 炊飯食味計 分析結果【出荷製品】

外観	9.3
硬さ	4.8
粘り	9.3
バランス	9.3
食味	89

1次審査(玄米)  
整粒歩合: 95.8  
食味評価値: 78.0  
タンパク質: 5.5

2次審査(白米)  
白度: 39.5  
味度値: 81.5

水分計: PB-1D3、白度計: C-600、穀粒判別器: RN-700、成分分析計: AN-820(株式会社ゲット科学研究所)、マルチ味度メーター: MA-90(東洋ライス株式会社)